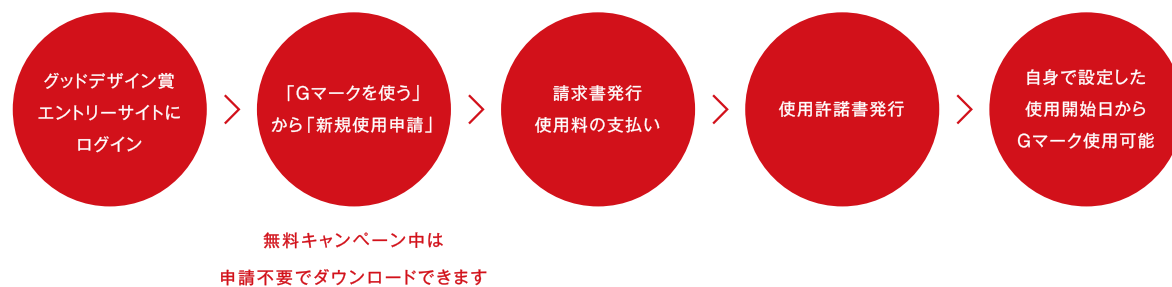


Gマーク 使用ガイド



Gマーク使用申請方法

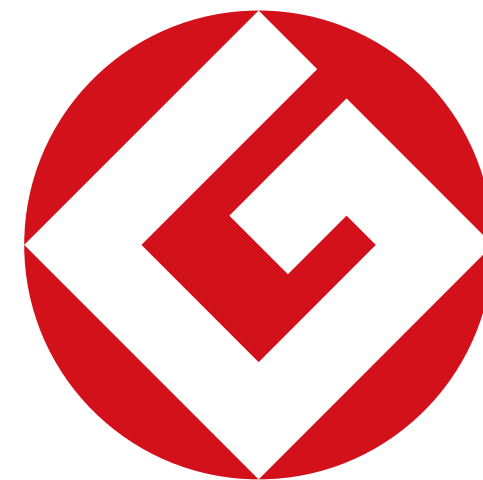
下記の流れで新規・継続使用ともに申請ができます。Gマーク使用を希望する受賞対象に行ってください。一度の申請でGマークが1年間使用可能です。使用開始日は任意に設定でき、使用申請日とは別にすることができます。なお、Gマークの使用に際しては、使用ガイドラインと使用要領を必ずご確認ください。



申請できる方

- A. 受賞者 ※連名の場合は、いずれかの受賞者が申請し、主催者が承諾すれば他の受賞者も使用可能です
- B. 受賞者の他部署や事業所など
- C. 受賞対象を扱う広告代理店や販売会社など ※受賞者による使用申請委任状の提出が必要です

※B・Cに該当する方で、エントリーサイトにアカウントをお持ちでない場合は、Gマーク使用申請用のアカウントを取得して、申請することができます。



GOOD DESIGN AWARD 2020

Gマーク使用・グッドデザイン賞に関するお問い合わせ | 公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局

E-mail siyou@help.g-mark.org URL www.g-mark.org



日本で高い認知率を持つ「Gマーク」が
あなたのグッドデザインを応援します

1度の申請で1年間、あらゆるシーンに使えます

使用開始日から1年間、国内・海外を問わず、あらゆる媒体でお使いいただけます。販売促進、広報、インナーツールに至るまで、アイデア次第で幅広くご活用ください。

商品パッケージ、店頭POP

競合商品が多いカテゴリーの中で
使いやすさを効果的にアピール



〔株式会社マーナ〕

展示会／見本市

展示ブースにGマークを掲示し
アイキャッチに活用



〔フルサト工業株式会社〕

プレス／ニュースリリース

ウェブのニュースリリース等は
日付入りであれば継続掲載可能



〔株式会社長沢燃料商事〕

ウェブサイト

特設ウェブサイトで
連続受賞歴とフィロソフィを紹介



〔ミサワホーム株式会社〕

交通広告

電車内ドア横広告で
大きく受賞をPR



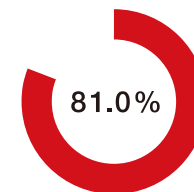
〔株式会社文響社〕

カタログ／パンフレット

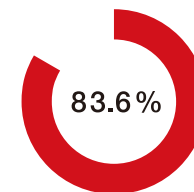
受賞対象をまとめて紹介し
企業のデザイン力をアピール



〔パナソニック株式会社〕



Gマーク
国内認知率



グッドデザイン賞
国内認知率

Gマークはどの年代・性別でも、
約80%の消費者から「知っている」という
調査結果が得られています。幅広い層に
対しての訴求に有効です。

※2020年2月インターネット調べ 2100s

受賞発表日から約1ヶ月は、Gマーク使用料無料です

2020年10月1日～11月3日まで、無料でGマークをお使いいただけます。
受賞発表日から約1ヶ月、受賞PRとともにGマークの効果をお試しください。

使用料は、受賞対象の価格／総事業費で算出します

Gマーク使用料の算出は、原則として商品価格に基づいて行われます。ただし、土木構造物や商品価格が存在しないものについては総事業費で使用料を算出します。 ※詳細は、Gマーク使用要領ページへ。

長く、もっと使いやすく。各種割引サービスがあります

個人・中小企業
50%割引

公的機関
無料

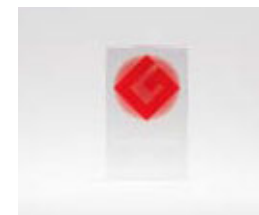
受賞5年以降
50%割引

受賞10年以降
無料

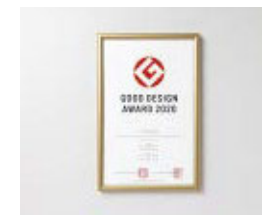
4年一括申請
25%割引

※割引制度は併用が可能です。※中小企業の定義については、「中小企業基本法」に定められる定義に従います。ただし、大企業の子会社等「大企業の実質的な支配下にある中小企業」については、割引措置を受けることはできません。

Gマーク使用料不要・使用期限なしの受賞PRグッズもご活用ください



グッドデザイン賞
トロフィー（ミニ）
22,000円
※ベスト100・特別賞トロフィーも
販売しています。



表彰状／表彰状フレーム
表彰状複製 5,500円
表彰状フレーム 11,000円



Gマークラベル（A4サイズ）
各種1シート 1,100円
（送料無料）



建築・施設用プレート
A.受賞対象名記載あり 93,500円
B.受賞対象名記載なし 71,500円

※グッドデザイン賞エントリーサイトからお申し込みください。 ※1回のお申し込みにつき、送料・手数料1,200円 ※価格はすべて税込です。

Gマーク使用ガイドライン

Gマーク

タイプAからLまで、全てのタイプを正式なGマークとして使用できます。
各タイプに優先順位はなく、どれを使用するかは用途により選択してください。
シンボルマークとロゴタイプの比率や位置関係は、掲載しているタイプのみを使用してください。
受賞者によるシンボルマーク単独での使用は推奨しておりません。単独での使用を希望される場合は事務局までお問い合わせください。

日本国内限定使用

年度表記なし		年度表記入り(和文)
タイプA	タイプC	タイプI
		
タイプB	タイプD	タイプJ
		

グローバル使用

年度表記入り(英文)		グッドデザイン・ベスト100専用
タイプE	タイプG	タイプK
		
タイプF	タイプH	タイプL
		

周囲の余白

他要素によって視認性が損なわれるのを防ぐために、余白を設けます。
下図の枠線エリアに別の要素を入れないでください。
 $a:b = 5:2$ [aを100%とした場合、bは40%縮小]
 $c:d = 4:1$ [cを100%とした場合、dは25%縮小]

タイプA、E



タイプB、C、D、
F、G、H、
I、J、K、
L



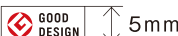
使用最小サイズ

視認性を保つため、下記のサイズより小さく使用することを禁止します。

タイプA、E



タイプB、F



タイプC、D



タイプG



タイプH



タイプI



タイプK



タイプJ



タイプL



周囲の余白

カラー表現の際には背景に白地を設けることを推奨しています。カラー表現以外にモノクロ表現（CMYK：K＝100％）およびネガ表現（反転）をすることが可能です。ネガ表現の場合、背景色は黒以外でも可能です。また例外として、大賞および金賞を受賞した作品は金色（箔押し含む）を使用することが可能です。



シンボルマーク

**GOOD
DESIGN**

ロゴタイプ

〔シンボルマーク〕
特色:PANTONE 186C
CMYK:C=14%、M=100%、Y=100%、K=0%
RGB:R=192%、G=0%、B=20%

〔ロゴタイプ〕
特色:PANTONE Hexachrome Black C
CMYK:C=0%、M=0%、Y=0%、K=100%
RGB:R=0%、G=0%、B=0%

カラー表現



モノクロ表現



ネガ表現



背景について

Gマークのカラー表現の際には背景に白地を設けることを推奨していますが、Gマークの視認性が損なわれない背景上であれば白地を設けずに使用することができます。ただし、Gマークの輪郭が著しく損なわれる恐れがある背景上で使う場合、視認性を保つために必ず白地を設けてください。

推奨例



白地を設けない場合



使用禁止例



指定以外の位置関係に変えない。



変形して使用しない。



マークとロゴタイプの比率を変えない。



指定色の混合をしない。



ロゴタイプ以外の書体を使わない。



指定色以外の色を使わない。



指定上で設けた余白内に文字要素を入れない。



影を付けて表示しない。



指定上で設けた余白内に視認性を著しく損なう要素を入れない。



同色のフチを付けて太らせない。



アウトラインで使用しない。



指定の色の濃度を変えない。

2020年度Gマーク使用要領

この要領は、2020年度グッドデザイン賞の受賞者が、「Gマーク」を使用するにあたり、公益財団法人日本デザイン振興会が定める「Gマーク使用に関する規則」「Gマーク使用ガイドライン」及び「Gマーク使用料金表」に基づき使用する方法及び必要とされる概要を記載したものです。

1）Gマークとは（Gマークの定義）

「Gマーク」とは、グッドデザイン賞事業の主催者である公益財団法人日本デザイン振興会（以下、「振興会」）が管理する知的財産権です。このマークは、1956年に亀倉雄策氏によってデザインされ、グッドデザイン賞制度が開始された1957年から、その受賞対象であることを示す証として使われています。

2）Gマークの使用

Gマークの使用に関しては、振興会が定める「Gマーク使用に関する規則」「Gマーク使用ガイドライン」及び「Gマーク使用料金表」を遵守してください。

規則等の概要は以下のとおりです。

- 2-1 受賞者は、受賞対象ごとに、グッドデザイン賞エントリーサイトの専用ページを通じて、「Gマーク」の使用申請を行います。振興会は、受賞者からの申請を受けて使用料の請求書を発行・送付し、入金を確認後「Gマーク使用許諾書」を送付します。
- 2-2 グッドデザイン賞の受賞者が複数である場合は、いずれかの受賞者が申し込みを行い、振興会からの許諾を受ければ、全ての受賞者が「Gマーク」を使用できます。また、受賞者の指示があれば、「Gマーク使用に関する規則」等を遵守することを条件に広告代理店等も、受賞者の代理者として「Gマーク」使用を申込むことができます。この場合は、Gマーク使用申請と同時に受賞者の代理者であることを示す「Gマーク使用申請委任状」を提出してください。
- 2-3 「Gマーク使用に関する規則2-2」による日本国外における「Gマーク」使用については、該当する市場（国・地域）の法令等の遵守が求められますので、「Gマーク」使用申請の際に、使用する国を明記の上、振興会にご相談ください。国により「Gマーク使用ガイドライン」の使用可能なロゴタイプ・シンボルマークの組み合わせ等が変更になる場合があります。原則的にシンボルマーク単独の使用はできません。
- 2-4 「Gマーク」の使用期間は、通常は振興会が発行する許諾書に記載された使用開始日から一年間とします。期間を超えて継続使用する場合は、再び使用申請を行います。
- 2-5 使用できる「Gマーク」の詳細については、振興会ウェブサイトの専用ページに記載します。また具体的な「Gマーク」の使用方法については、「Gマーク使用ガイドライン」に示した様態に限りです。

3）Gマークの使用料

「Gマーク」の使用許諾日から1年間の使用料は右の使用料金表のとおりです。	販売価格	総事業費（販売価格が無い場合）	使用料（税込）
3-1 原則として審査情報として記載された販売価格（オープンプライスの場合は実勢価格）をもって上記区分を適用します。なお、販売価格に幅がある場合は、その平均値を適用します。ただし、商品価格が存在しないものについては総事業費を適用します。	50万円未満	5億円未満	220,000円
	50万円以上500万円未満	5億円以上50億円未満	550,000円
	500万円以上	50億円以上	1,100,000円
3-2 日本国外の受賞者についても、上記の規定に準拠して使用料を算出します。			

4）使用料の減額措置

振興会は、「Gマーク使用に関する規則5-2」により、下記のような減額措置を設けます。

- 4-1 受賞者が国、地方自治体などの行政機関、国または地方自治体から認可や認定を受けた学校法人、医療法人、宗教法人、財団・社団法人、NPO法人等の公共機関・団体である場合は、Gマーク使用料を無料とします。ただし、行政機関と民間事業者との共同出資により設立された法人（第三セクター）は除きます。日本国外の受賞者が同様の形態で対象の場合は、この規定に準拠して振興会が判断します。
- 4-2 受賞者が個人または中小企業である場合は、Gマーク使用料を50％割引とします。なお中小企業の定義については、日本国「中小企業基本法」に定められる定義に従います。ただし、大企業の子会社等「大企業の実質的な支配下にある中小企業」については、割引措置を受けることはできません。日本国外の受賞者が中小企業対象の場合も、この規定に準拠して振興会が判断します。
- 4-3 受賞年度内に4年間分の使用を一括して申し込む場合は、4年分の使用料から25％割引とします。また、受賞後5年目以降の受賞対象のGマーク使用料は50％割引とします。受賞後10年目以降の受賞対象、およびロングライフデザイン賞受賞対象のGマーク使用料は無料とします。

5）災害復興を支援する減免措置

2011年の東日本大震災からの復興を支援するため、日本の岩手県・宮城県・福島県に本社（個人の場合は主たる所在地）を置くグッドデザイン賞受賞者および青森県・秋田県・山形県・茨城県に本社（個人の場合は主たる所在地）を置く2015年度までのグッドデザイン賞受賞者については、2021年3月31日までに申し込まれた1年間のGマーク使用料を無料とします。

6）受賞PR期間におけるGマークの無料使用

全ての受賞者は、その年度の受賞対象について受賞発表の日から1ヶ月間に関りGマークを無料で使用することができます。2020年度の受賞PR期間は、2020年10月1日から11月3日までとします。また振興会は、上記期間以外にも、無料期間等を設定することがあります。

7）受賞対象の改善改良にともなうGマーク使用

受賞者は、性能改善等の仕様変更を行った受賞対象に関してGマークの使用を希望する場合は、振興会に規定の「Gマーク仕様変更届」を提出します。振興会は、「Gマーク使用に関する規則3-4」により、その内容を判断の上、Gマーク使用の可否を連絡します。

8）使用状況の報告

振興会はGマークを使用している受賞者に対し、その使用状況についての報告を求めることがあります。

詳細は、「Gマーク使用に関する規則」をご確認ください。グッドデザイン賞ウェブサイト（www.g-mark.org）> Gマークを使う > Gマーク使用ルール > 使用に関する規則